

高浜地区の概要

- 地区の人口等

人口 7,660人(高齢化率 34.6%)※H28.2.1現在

面積 4.57km²

- 自然特性

西側に海、東側に山が位置し、災害時の避難行動に熟考を要する。

- 社会特性

松山の海の玄関である松山観光港は、市内外の多くの方が利用。

木造建物の比率も高く、地震時には火災発生のおそれが高い。

- 想定される災害

過去に甚大な被害を受けた高潮、大規模地震による津波・液状化のほか、豪雨時の土砂災害も想定される。

高浜地区の位置



地域で愛される梅津寺海岸



松山の海の玄関「松山観光港」を望む



高浜地区防災計画の取り組み

- ・高浜地区は海に面し、標高も低く、津波浸水域が7割ほどあり、海と県道と山に挟まれた細長い範囲に古い住宅が密集し、空屋が点在しているため地震発生で避難を余儀なくされる世帯数が多いと想定されます。

そのために避難所を開設する場合の手順や注意点、基本ルールを知る訓練を体験してもらうことで、少しでも災害に対しての心配が減ればと計画しました。指定避難所は小・中学校並んであるため訓練方法を変えて行いました。

- ・小学校では休日での避難所開設を想定し防災士がリーダー役を受け持ち名簿作成や開設手順の説明等を行い、避難所運営は避難された方で行うのが基本だと認識してもらいました。

- ・中学校では授業中での地震発生を想定し、避難所開設時の誘導やお世話を生徒主体で行い、防災士が後方支援を行う事で地域における中学生の防災活動への意識向上が図られ、参加住民からも好評でした。

- ・今後は避難所開設グッズの整備を検討したいと思います。

小学校避難所運営訓練



中学校避難所運営訓練

